2006年6月1日～2026年1月31日の間に
札幌医科大学附属病院泌尿器科において
性別適合手術（外陰部女性化手術）を受けられた方へ

―「当科におけるSuporn法による外陰女性化手術の初期成績」へのご協力のお願い―

研究機関名　札幌医科大学附属病院
研究機関長　病院長　渡辺　敦
研究責任者　札幌医科大学附属病院　泌尿器科　教授　舛森　直哉
研究分担者　札幌医科大学附属病院　泌尿器科　診療医　深澤　武史

1．研究の概要

1）研究の目的

札幌医科大学附属病院泌尿器科において性別適合手術（外陰部女性化手術）を受けられた方を対象に、手術前の状態や手術後の経過を調べて、術後合併症の内容や患者満足度などを知ることによって、手術方法の工夫や術後管理法を考えるための参考にすることがこの研究の目的です。

2）研究の意義・医学上の貢献

これまで札幌医科大学附属病院泌尿器科で性別適合手術（外陰部女性化手術）を受けられた方の経過を把握する事により、今後同じ手術を受けられる患者さんの手術方法、手術後の対応の参考にすることができます。

この研究で得られた成果は、札幌医科大学附属病院の患者さんに限らず、同じ治療を施行した全国の患者さんの治療や治療後のケアの改善に貢献できる可能性があります。

2．研究の方法

1）研究対象者

2006年6月1日～2026年1月31日の間に札幌医科大学附属病院泌尿器科において性別適合手術（外陰部女性化手術）を受けられた方（MTF:Male To Female）が研究対象者です。

2）研究期間

病院長承認後～2026年12月31日

3）予定症例数

63人

4) 研究方法

2006年6月１日～2026年1月31日の間に当院において性別適合手術（外陰部女性化手術）を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに手術内容と術後半年までに発生した出来事に関わるデータを収集し、術後経過に影響する要因に関する分析を行います。

5) 使用する情報

この研究に使用するのは、大学病院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 年齢、身長、体重、術前のホルモン療法の有無と期間
・ 手術前後の身体診察所見、手術記録（出血量と手術時間）、血液検査データ（術前後のヘモグロビン） 、ドレーン留置期間、入院期間
・ 合併症の出現頻度・程度、合併症に対する治療の内容
・排尿状態および性的感覚に関する診療録
・審美性に関する主観的評価、修正手術の有無

情報の利用を開始する予定日は、2026年11月1日です。

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、札幌医科大学泌尿器科学講座内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理･制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究は行いません。

7) 情報の管理責任者

この研究で使用する情報は、以下の責任者が管理します。
札幌医科大学附属病院 病院長　渡辺敦

8) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

9) 研究に関する問い合せ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2026年１０月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続をして、研究に用いられることはありません。この場合も、その

後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。
ご連絡頂いた時点が上記お問い合せ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承下さい。

<問い合わせ・連絡先>
札幌医科大学 医学部 泌尿器科学講座
氏名：舛森　直哉
電話：011-611-2111 内線 34720（平日：8時45分～17時30分） 教室
　　011-611-2111 内線 39260（休日：8時45分～17時30分）西8病棟
ファックス：011-612-2709　休日･時間外（17時30分～08時45分）
アドレス：masumori@sapmed.ac.jp